

岩永 きりん



X、Instagramにて情報発信中。フォローいただくと嬉しいです！

@kirin_iwanaga

NEWS

2025年度の予算案が発表されました！

1 月末、2025年度の板橋区の予算案が発表されました。一般会計予算は、前年度比較+8.8%の約2753億円。4つの特別会計を合わせると総額約3928億円と、過去最大額の予算案となりました。歳出に関しては、「いたばし生活支援臨時給付金」や「児童手当」の支給経費、「小中学生に1人1台貸与しているChromebookの端末入れ替え(5年に1回)」等が増額の主な要因です。歳入に関しては、「納税義務のある方」と「1人当たりの納税額」がともに増加する見込みであり、特別区税が前年比+17億円の536億円となること、また、法人住民税や固定資産税の増収により、都からの特別区交付金が前年度比+56億円の881億円となることが増額の主な要因です。



区役所10階にある委員会室。予算審査などを行います。傍聴していただけます

賃上げや再開発などによる地価上昇、働く高齢者の増加等により、**税収は全国的に増加傾向**。
大変な物価高が続く中、**区民への適切な還元が不可欠**です。



COLUMN

一般会計と特別会計って？

国や地方自治体では、各会計年度において、施策全体を広く網羅し総合的に把握することが出来るよう、基本的には単一の会計(=一般会計)で一括して処理することが望ましいとされています。しかし、特定の事業について資金運用状況を明確

にするべき場合もあり、その際は一般会計とは別に「特別会計」を設置します。現在板橋区には、

- ① 国民健康保険保
 - ② 介護保険
 - ③ 後期高齢者医療
 - ④ 東武東上線連続立体化
- に関する4つの特別会計が設置されています。

昨年提出した予算に対する要望について
坂本区長から回答を受け取りました

私は主に子ども・若者、発達障がい児者への支援について要望。会派として要望してきた、適切な労働条件を確保するための「**公契約条例の制定**」は、実現に向け一歩前進しました！

令和7年第1回定例会が行われました

2 月13日から、約40日間の板橋区議会第1回定例会がスタート。年4回行われる定例会のうち、第1回定例会では主に次年度予算の審査を行います。過去最大額となった予算案について、「見直すべき事業や無駄な歳出はないか」、「各部署への配分は適正か」、「基金の運用は適切か」等、調査を行います。私は所属する委員会での質疑と会派を代表しての討論を担当。予算審査の内容は駅近辺でお配りしているレポートとHP(リニューアル中。近日公開予定です)でご報告させていただきます。

議会活動のご報告

文教児童委員会（児童福祉、子ども家庭総合支援センター、学校教育、生涯学習、図書館運営について）

☒ 議会で取り扱う事項をいくつかに分けて、専門的かつ効率的に審査や調査するために設置されている「委員会」。第1回定例会にて、私が所属する文教児童委員会では議案6件・陳情1件の審査、報告事項6件に関する質疑が行われました。

フレンドセンター利用の際の自転車使用許可を！

さまざまな理由で登校できない小学生4年生～中学生に対して、学習や体験活動（スポーツや行事、集団でのゲームなど）ができる環境を提供し、自立に向けたサポートを行う「フレンドセンター」。板橋本町駅近くに本体が、成増駅近くに分室が設置されています。遠方に住む児童生徒は利用したくても通えない場合があり、このたび区民の方から自転車利用の許可を求める陳情が提出されました。私は、地域クラブの活動では自転車利用が許可されていることなどを指摘し、利用許可を求めました。今すぐ許可とはなりませんでしたが、不登校のお子さんたちの居場所が増えるよう、今後も働きかけていきます。



板橋フレンドセンターにて。
約150名が利用登録しています



豊島・目黒区の仲間とともに、全国初の
「不登校の中学生が通える夜間中学」
香川県三豊市高瀬中学校へ伺いました

最新の調査では、区内の不登校の小中学生の合計数は1344人（R5時点。前年度比+280人）。年々増加傾向かつ、半数以上が欠席90日以上と長期化しています。不登校対策について、当事者のお子さんと保護者の方にお話を聞かせていただくとともに、他自治体の先進事例を板橋区でも取り入れられないか各地に視察に赴く、勉強会に参加するなど模索しています。ご意見やご要望、体験談等がございましたら、どうぞお寄せください。

ゼロカーボン推進調査特別委員会（省エネ・再エネ、スマートインフラ、人や社会・環境に配慮した消費行動について等）



岩永の自宅のコンポスト。虫除けのため、
着古したTシャツで箱を覆っています

昨年第4回定例会では、食品ロス削減などを目指し区が実施している取り組みについて、資源循環推進課長から現状報告を受け質疑を行いました。私は、食品を余らせた店舗と買い手をつなぐマッチングサービスや、生ごみを堆肥化する「コンポスト」の取り組みについて質問。コンポストは区としても徳丸、富士見町、前野町の3ヶ所に設置していますが、認知が進んでおらず、利用される方も少ない現状が明らかになりました。私も個人的に数年前から自宅でコンポストをしていましたが、引越しにより管理が難しくなった経験があります。状態によっては堆肥化したものを区が回収できる場合もあるそう。もし同様にお困りの方がいれば、資源循環推進課にお問い合わせください。ちなみに、コンポストはダンボール、新聞紙、ホームセンターに売っている土（ピートモス＆くん炭）があればお家でそれほど手間なく始められます。生ごみを捨てるための水切り等の手間が減ると、ごみが分解される様子が可愛く（？）、ずぼらで面倒くさがりな私でも続けられました。環境にも優しいので、よろしければお試しください^^

ご意見やお困りごとをお寄せください



@kirin_iwanaga

板橋区議会議員 岩永きりん事務所 〒175-0092 東京都板橋区赤塚2-9-11-101

携帯:080-9571-8961 Email:iw.kirin@gmail.com